

公益財団法人久留米文化振興会

2023 年度 事業報告書

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

目 次

	Page
I 事業の概要	4
II 事業活動	5
《公益目的事業》	6
公1 芸術文化施設等の管理運営事業	7～8
公2 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業	9～15
公3 美術館運営事業	16～21
《収益事業》	22
収1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業	
収2 売店・喫茶事業	
収3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業	
収4 久留米市の公共施設の指定管理事業	
収5 駐車場管理運営事業	
《事務局事業》	23
III 処務の概況	24～26
1 役員に関する事項	
2 会議に関する事項	
3 許可・認可・承認に関する事項	
4 届出・申請等に関する事項	
5 組織に関する事項	
IV 附属明細書	26

I 事業の概要

当財団が管理運営する石橋文化センターは、株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、1956年に建設、久留米市に寄贈された文化施設です。

石橋文化センターには、美術館、ホール、日本庭園等があり、文化芸術活動への参加のみならず、四季折々の花に溢れた庭園の散策にも多くの方が訪れます。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことにより、様々な事業を本格的に再開することができました。

久留米市美術館では4本の展覧会を開催し、「芥川龍之介と美の世界」展（公益財団法人石橋財団特別助成）では、芥川の文学と美術を交錯させながら夏目漱石だけでなく久留米出身の菅虎雄も取り上げた点など、来館者からも高い評価を得ました。また、2月から3月にかけて、美術館外壁等改修工事のため休館し、あわせて2階展示室の壁補修も行い、展示室の機能充実に努めました。

石橋文化ホールでは開館60周年記念事業として「メモリアルコンサート」を開催し、同ホールで1968年に初演された合唱組曲「筑後川」を演奏した他、テレビ番組「出張！なんでも鑑定団」の収録等を行い多くの方にご来場いただきました。

市民が日頃の活動の成果を発表する機会として開催している「くるめ音楽祭」は4年ぶりに入場制限をせずに3部門で開催することができ、多くの団体が演奏を披露しました。

3月末で閉館した文化センター共同ホールは、舞台装置や施設の安全点検を徹底し、各種団体のコンサートや講演会等に広く活用いただきました。

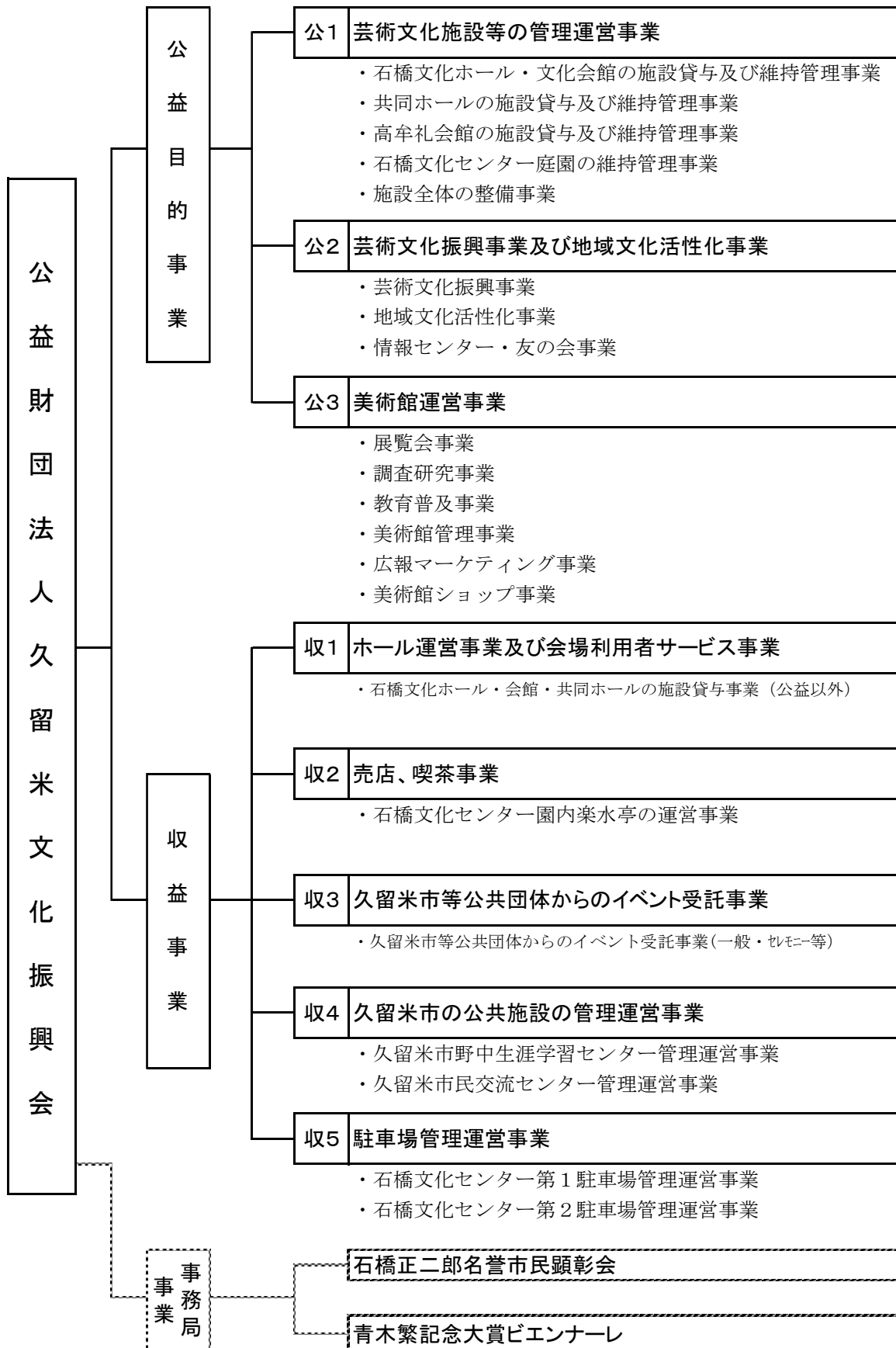
園内では、季節の花木をテーマとしたイベントの他、ライトアップ設備を活かしたミュージアムハロウィン、アートフェスティバル等を開催し、来園者数も回復傾向にあります。また、前年度に浚渫した白鳥の池の睡蓮や花しょうぶ等の水生植物の再整備に加え、美術館前の幹線園路のカラー舗装も行いました。

このように、園内では、石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動を推進するため、様々な取組みを行いました。

以上のように、2023年度はアフターコロナの動きを加速させるとともに、施設の機能を向上させ、芸術文化の振興と地域文化の活性化を図りました。

II. 事業活動

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



《公益目的事業》

芸術文化の振興と地域文化の活性化を図ることにより、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与することを目的としています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、石橋文化センター及び園内の各施設を中心に事業を実施しました。

【石橋文化センター入園者及び主要施設の利用状況】

	当年度	前年度	対前年度
石橋文化センター入園者数（人）	419,423	401,495	17,928
久留米市美術館 主催展覧会入館者数（人）	44,000	26,388	17,612
石橋正二郎記念館入館者数（人）	20,006	25,894	▲5,888
石橋文化ホール入場者数（人）	70,563	69,571	992
石橋文化会館入場者数（人）	33,487	34,695	▲1,208
共同ホール入場者数（人）	36,147	33,244	2,903

*臨時休館など

〔久留米市美術館〕

2023年8月10日（木）台風6号のため臨時休館

【石橋文化センター入園者等の月別推移】

	入園者数（人）			展覧会入館者数（人）		
	当年度	前年度	対前年度	当年度	前年度	対前年度
4月	42,070	32,120	9,950	2,289	-	2,289
5月	78,895	79,765	▲870	3,782	-	3,782
6月	30,642	21,359	9,283	3,910	-	3,910
7月	25,761	16,948	8,813	6,670	-	6,670
8月	26,348	16,965	9,383	7,470	-	7,470
9月	26,836	18,089	8,747	3,102	-	3,102
10月	39,322	37,723	1,599	3,346	655	2,691
11月	45,065	49,375	▲4,310	4,914	7,829	▲2,915
12月	28,709	27,831	878	3,835	4,046	▲211
1月	25,505	34,287	▲8,782	4,682	6,654	▲1,972
2月	22,189	31,901	▲9,712	-	2,519	▲2,519
3月	28,081	35,132	▲7,051	-	4,685	▲4,685
合計	419,423	401,495	17,928	44,000	26,388	17,612

公 1	芸術文化施設等の管理運営事業
-----	----------------

石橋文化センター諸施設並びに高牟礼会館の施設貸与及び維持管理事業を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組みました。

公 1— I 施設の貸与事業

1 石橋文化ホール・文化会館、共同ホール

施 設			開館 日数	利用 日数	利用率 (%)	利用者数 (人)
石橋文化ホール		当年度	313	177	56.6	70,714
		前年度	311	193	62.1	69,571
石 橋 文 化 会 館	小ホール	当年度	313	175	55.9	11,630
		前年度	311	201	64.6	13,152
	会議室・研修室	当年度	1,565	822	52.5	15,072
		前年度	1,555	831	53.4	14,681
	市民ギャラリー	当年度	313	163	52.1	6,785
		前年度	311	182	58.5	6,862
小 計					当年度	104,201
					前年度	104,266
共同ホール		当年度	313	127	40.6	26,234
		前年度	311	129	41.4	23,177
研修棟		当年度	1,878	647	34.5	9,913
		前年度	1,866	766	41.0	10,067
小 計					当年度	36,147
					前年度	33,244
合 計					当年度	140,348
					前年度	137,510

【利用促進事業】

事 業			実施回数など	
ちょっと気軽にピアノ発表会 (小ホール)		当年度	13 件	905 人利用
		前年度	14 件	185 人利用
練習利用	石橋文化ホール	当年度	3 件	118 人利用
		前年度	7 件	257 人利用
	小ホール	当年度	21 件	762 人利用
		前年度	12 件	357 人利用

2 高牟礼会館

【施設貸与状況】

年度	件数	利用人数	利用者作品展
当年度	1,781 件	18,322 人	1 回
前年度	1,607 件	15,796 人	1 回

公 1 — II 施設の維持管理

1 庭園管理

花菖蒲やスイレンなどの水生植物の再整備を行い、初夏の魅力を向上しました。また、春から秋にかけて毎週行うバラの消毒を外部委託し早朝に実施することで、開園時間中の消毒作業を軽減することができました。

2 施設整備事業

施設の機能維持や安全性確保のために実施した事業

石橋文化ホール音響調整卓更新

石橋文化会館研修室空調機更新

石橋文化会館 1 階事務室照明器具 LED 化

石橋文化センター園路舗装

石橋文化センター園内トイレ等屋根改修

高牟礼会館空調機更新

公2	芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業
----	---------------------

新型コロナウイルス感染症の5類移行により、マスク着用や感染拡大時のイベント中止の対策を講じることなく、すべての事業を制限なく実施しました。また、石橋文化ホールで開催する事業は石橋文化ホール開館60周年記念事業として実施しました。

公2—I 芸術文化振興事業

1. 優れた芸術文化公演等の鑑賞事業

事業名	開催日・会場・料金	入場者数
メモリアルコンサート	2023年6月4日(日) 石橋文化ホール 1,000円	928人
上野通明 チェロ・リサイタル ピアノ：北村朋幹	2023年7月2日(日) 石橋文化ホール 4,500円	575人
ドラゴンクエストコンサート 音楽は心のタイムマシン! オーケストラで奏でる～ドラゴンクエストの世界～	2023年8月13日(日) 石橋文化ホール 5,000円	1,012人
出張!なんでも鑑定団 in 久留米	2023年11月12日(日) 石橋文化ホール 無料(事前申込・抽選) テレビ放送 2024年1月9日	956人
森山良子コンサート	2023年12月15日(金) 石橋文化ホール 5,500円	1,048人

2. 市民の文化活動の支援や地域文化団体の育成事業

事業名	開催日・会場・料金	入場者数
第34回くるめ新人演奏会	2023年5月28日(日) 石橋文化ホール 1,000円	210人
小学生のための楽器体験会 &くるめ Jr. ブラスコンサート ・楽器体験会	2023年8月26日(土) 27日(日) 石橋文化ホール 参加無料	43人 43人
・くるめ Jr. ブラスコンサート	2023年8月27日(日) 石橋文化ホール 参加無料	222人

くるめ音楽祭 2023	石橋文化ホール 入場無料（要整理券）	1,646 人
吹奏楽祭	2023 年 9 月 10 日（日）	837 人
合唱祭	2023 年 9 月 17 日（日）	525 人
アンサンブル・フェスティバル	2023 年 9 月 18 日（月祝）	284 人
第 52 回市民プラス・コンサート 2024 ニューイヤー・バンド・フェスティバル	2024 年 1 月 7 日（日） 石橋文化ホール 入場無料（要整理券）	780 人

3. 青少年の文化芸術体験事業

(1) 石橋文化センター開園記念こどもスケッチ大会

開催日：4 月 23 日（日）10:00～16:00

場所：石橋文化センター園内

参加人数：442 人

(2) 学校への芸術家等派遣事業（久留米市からの受託事業）

学校と芸術家との協働で、子どもが文化芸術体験を通じて学び、表現できる環境を整える目的として、市内の小学校 32 校でワークショップを実施しました。

ジャンル	学校数	参加生徒数
音楽	2 校	220 人
華道	1 校	14 人
邦楽	3 校	230 人
水墨画	5 校	364 人
狂言	6 校	450 人
能	4 校	190 人
馬頭琴	8 校	776 人
合計(前年度)	29 校 (24 校)	2,244 人 (1,788 人)

公2ーⅡ 地域文化活性化事業

1. 石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

(1) ななつの花めぐり

石橋文化センターの庭園を活用し、季節を捉えた「ななつの花めぐり」のイベントを実施しました。

事業名	開催日	主要イベント参加者数	期間中 入園者数
春のバラフェア	4月29日(土祝) ～5月28日(日)	コンサート1,930人 バラの体験コーナー422人 ライトアップ1,679人	92,907人
あじさい・はなしょうぶまつり	5月18日(木) ～6月18日(日)	ホテル観賞951人 コンサート&ライトアップ 240人	44,006人
秋のバラフェア	11月3日(金祝) ～11月19日(日)	コンサート400人	25,090人
もみじまつり	11月21日(火) ～12月3日(日)	コンサート524人 ライトアップ1,209人 ライトアップディナー111人	20,508人
春の花まつり (梅まつり、つばきまつり、SAKURA・チューリップまつり)	2024年2月25日(日) ～4月7日(日)	梅・つばき・桜コンサート 970人 夜桜ライトアップ548人	39,707人
合 計			222,218人

(2) 坂本繁二郎旧アトリエ特別公開

園内の事業に合わせて坂本繁二郎旧アトリエを公開しました。

事業名	開催日	入場者数
SAKURA・チューリップまつり	4月1日(土)、2日(日)	343人
春のバラフェア	5月3日(水・祝)、4日(木・祝)、5日(金・祝)	1,281人
あじさい・はなしょうぶまつり	5月20日(土)、27日(土)	508人
秋のバラフェア ／もみじまつり	11月18日(土)、19日(日) 25日(土)、26日(日)	761人
つばきまつり	2024年3月17日(日)、23日(土)	56人
SAKURA・チューリップまつり	2024年3月30日(土)、31日(日)	322人
合 計		15日間 3,271人

(3) ミュージアムコンサート

市民に優れた演奏を気軽に楽しめる機会を提供するコンサート。コンサートチケットで展覧会も鑑賞できる。今年度からは子供向けミュージアムコンサートも開催。

入場料：①無料 ②③④一般 500 円 ⑤⑥一般 1,000 円

会 場：石橋文化ホール

事業名・開催日・内容		入場者数
① 4月26日(水)	ギター、ピアノ、ベース、ドラム	276人
② 8月12日(土) ※for キッズ	オーボエ、ヴァイオリン、ピアノ	428人
③ 10月4日(水)	ヴァイオリン、チェロ、 ピアノ	274人
④ 12月9日(土)	フルート、ギター、 ピアノ、パーカッション	351人
合 計		1,329人

(4) ミュージアムハロウィン

親子で夜の文化センターを楽しめるイベントとして実施。コンサートやマルシェ、仮装イベントなどを開催しました。

開催日：10月7日(土)～10月31日(火)

ライトアップは28日(土)、29日(日)、31日(火)の3日間(20時まで)

期間中入園者：33,888人(夜間ライトアップ1,667人)

(5) 石橋文化センターアートフェスティバル

2016年11月の久留米市美術館開館を機に、美術館のコンセプトである「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」として取り組んでいる事業。

子どもたちや大学生、アーティストとの協働プロジェクトを行い、開催期間に作品を展示しました。

開催日：11月3日(金祝)～19日(日)

会 場：石橋文化センター園内各所

期間中入園者：25,502人

① 子どもたちとアーティストによるアート創造プロジェクト

「クルメ市スワン町 久留米の詩 2023」(オブジェ展示)

アーティストと市内の小学生18名が園内散策で感じたことを「ことば」にして、詩をつくるワークショップを実施。その際に生まれた詩と久留米にゆかりのある詩人、丸山豊氏、川崎洋氏の詩をインスタレーションにして日本庭園に展示した。

《参加アーティスト》夏野雨(詩人)、野島智司(ネイチャーライター)、
中川たくま(プランニングディレクター)

②アーティストを志す大学生等の創作活動支援プロジェクト

美術系大学生が、大学ごとに特色のある作品を制作し、作品を発表しました。

《参加大学》

九州大学（有志6名） 「紅葉借景図」

九州産業大学 芸術学部 「杜子春すごろく」（写真作品展示）

佐賀大学芸術地域デザイン学部×アーティスト・和田千秋、坂崎隆一

「障碍の茶室Ⅷ 河童の庭」

（7）ミュージアムクリスマス

コンサートやワークショップなどのクリスマスイベントに加え、園内をライトアップとイルミネーションで彩りました。

開催日：12月15日（金）～12月24日（日）

（イルミネーションは期間中の金土日6日間）

期間中入園者：9,623人（イルミネーション1,926人）

（8）ミュージアムバレンタイン

バレンタインデーに合わせて、色とりどりの花を使ったフラワーアレンジメントのワークショップなど身近な人への感謝をテーマにイベントを開催しました。

開催日：2024年2月1日（木）～2月14日（水）

期間中入園者：9,311人

2. 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業

（久留米市からの受託事業）

（1）くるめライブチャレンジ2023 Jr ミュージックレクチャー

会場：久留米シティプラザ スタジオ1～4

6月～9月（4回） 参加者57人

（2）くるめライブチャレンジ2023

会場：久留米シティプラザ C-BOX

① 9月30日（土） 出場：6組

入場者：390人

② 10月15日（日） 出場：11組

入場者：662人

③ 11月11日（土） 出場：7組

入場者：618人

（3）くるめライブチャレンジ2023 ベストパフォーマー大会

会場：久留米シティプラザ 久留米座

開催日：2024年2月24日（日） 出場：10組

入場者：450人

審査結果：【年間チャンピオン（最優秀賞）】 ひとみしりオムライス

【シンガー部門1位】 kiichi

【バンド・弾き語り部門1位】 ひとみしりオムライス

【西村賞】 kiichi

【永吉賞】 EXCLAMATION

【松隈賞】 TWO RABBITS

(4) KURUME MUSIC FES. 2024

開催日：2024年3月17日（日）
会場：東町公園
入場：無料
入場者数：8000人

(5) 久留米シティプラザ六角堂広場ランチタイムコンサート

会場：久留米シティプラザ 六角堂広場

事業名・開催日・内容		入場者数
① 9月28日（木）	篠原真司（クラシックギター）等	420人
② 10月12日（木）	高木康行（サクソフォン）等	530人
③ 11月10日（木）	山田明子（フルート）等	600人
合 計		1,550人

(6) 邦楽振興事業

① 邦楽ワークショップ

開催日：10月1日（日）

- ・ 箏曲発祥の地“大本山善導寺”ツアー 参加55人
- ・ 善導寺で開く邦楽小演奏会 参加88人

② 邦楽演奏会 箏曲のふるさと久留米 第6回記念「春を彩る邦楽のしらべ」

開催日：2024年3月23日（土）

会場：石橋文化ホール

入場者：356名 ※後日 YouTube 配信

3. 地域の施設や団体と連携した地域活性化事業

(1) くるめぐるフェスタ

近隣5施設（石橋文化センター、久留米市美術館、福岡県青少年科学館、くるめウス久留米市鳥類センター）で連携し各施設を巡るスタンプラリーを実施しました。

また、5施設共同による「くるめぐるフェスタ」を開催しました。

開催日：9月9日（土）

会 場：石橋文化センター園内

入園者：1,552人

(2) 久留米まち旅博覧会

石橋文化ホールバックステージツアー

2024年1月28日（土） 参加29人

公2—Ⅲ 情報センター友の会事業

1. 情報誌の発行・ホームページの運営

情報誌「みどりのリズム」を毎月発行（12,000部）から隔月発行（10,000部）に見直しました。また、昨年開設した公式 LINE、公式インスタグラムを積極的に活用し、フォロワー数を増やしました。

2. 友の会事業

新たな会員向け事業を行うなど、会員獲得に努めました。

(1) 会員の状況

区 分	新規	継続	合 計 (前年度)
ミュージアム会員	71 人	299 人	370 人 (328 人)
スタンダード会員	50 人	47 人	97 人 (78 人)
合 計	121 人	346 人	467 人 (406 人)

(2) 友の会会員事業

①写真教室 for メンバーシップみゅーず

4 回 (延べ 37 人)

②ミュージアム会員限定ギャラリートーク

会場：久留米市美術館 2 階

8 回 (延べ 69 人)

3. 石橋文化センター情報サテライト (久留米シティプラザ 2 階)

情報サテライトでは、石橋文化センターや久留米市美術館、その他文化情報の発信の他、石橋文化センターや久留米シティプラザで開催するコンサートチケットも販売し、市民の利便性向上を図りました。

久留米市の「新たな美術館の基本方針」に基づき、市民をはじめ多くの方々に親しまれる美術館となることを目指し、指定管理者として久留米市美術館の管理運営を行いました。美術館外壁改修工事の影響により、当初予定していた「ちくご ist 尾花成春」展を、次年度に延期するなどの影響がありましたが、あわせて美術館 2 階展示室の壁補修を行うなど、展示環境の改善も行いました。

1. 展覧会事業

久留米市美術館 2 階で 4 本の企画展を行いました。「コレクション ing 野見山暁治の見た 100 年」は拡大コレクション展として、作家から寄贈作品群を含む所蔵品と、石橋財団や西日本シティ銀行からの寄託品に加えて近隣他館からも一部作品を借用し、現役最高齢の画家の生涯を通して日本洋画の 100 年の歴史にせまりました。「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」では、日本洋画に影響した西洋美術として当館がたびたび取り上げてきたウィリアム・モリスを源流とする工芸とデザインの流れを紹介し、幅広い来館者を迎えました。続く「顕神の夢」は複数の公立館が協力し、地域創造「公立美術館共同巡回展開催助成事業」の助成を受けて実施した展覧会で、これまで当館では取り上げる機会の少なかった現存作家を多数紹介できました。公益財団法人石橋財団の特別助成により開催した「芥川龍之介と美の世界」は、芥川の生涯を通じて見られた美術への関心を、書簡や作品から丹念にたどることで、これまでにない形の文学/美術展となりました。芥川と夏目漱石という二人の文豪と並べて、両者と深く関係した久留米出身のドイツ語教師にして能書家の菅虎雄についても紹介しました。

展覧会	会期	一般料金	入館者数 (1日平均)
リアル(写真)のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと	2023年2月11日(土) ～2023年4月2日(日) (2023年度2日間 ※全会期44日間)	1,000円	4/1～4/2 1,075人 (538人) ----- 全会期 8,279人 (188人)
コレクション ing4 野見山暁治の見た 100年	4月22日(土) ～6月4日(日) (38日間)	700円	6,054人 (159人)
アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで	6月17日(土) ～8月17日(木) (53日間)	1,000円	16,290人 (307人)
顕神の夢－幻視の表現者－村山槐多、関根正二から現代まで	8月26日(土) ～10月15日(日) (46日間)	1,000円	6,562人 (143人)
芥川龍之介と美の世界 二人 の先達－夏目漱石、菅虎雄	10月28日(土) ～2024年1月28日(日) (76日間)	1,200円	1,4019人 (184人)
2023年度合計(215日間)			44,000人 (205人)

2. 石橋正二郎記念館の運営

石橋正二郎記念館展示室では、正二郎にちなんだテーマで石橋財団コレクション作品を展示しました。2022年度に導入したスマートフォンによる音声ガイドアプリは、石橋コレクション作品解説も加えられ、来館者に好評であり、特に海外からの来館者には積極的に利用を促しました。また、近隣の小学校での地域学習として記念館を来館された際には、正二郎の生涯を動画で紹介するなど、正二郎のひととなりや美術振興事業等の理解促進に努めました。

期	展示テーマ	会 期	入館者数 (1日平均)
第21期	石橋正二郎の コレクションの始まり	2月11日(土・祝)～4月16日(日) (56日間:2023年度14日間)	3,693人 (65人) ※4/1～571人 (40人)
第22期	正二郎と豊田勝秋	4月22(土)～8月20日(日) (100日間)	7,540人 (75人)
第23期	正二郎の生きた時代 —1906事業を継ぐ	8月26日(土)～10月22日(日) (52日間)	2,728人 (52人)
第24期	正二郎の生きた時代 —1923地下足袋販売	10月28日(土) ～2024年2月4日(日)(82日間)	7,062人 (86人)
第25期	正二郎の生きた時代 —1930国産タイヤ製造	2024年2月10日(土) ～4月14日(日) (57日間:2023年度45日間)	2,377人 (42人) ※3/31迄2,105人 (46人)
2023年度合計(293日間)			20,006人 (68人)

3. 調査研究事業

(1) 作品収集、保存・修復のための調査研究

①久留米市美術品収集委員会で審議する候補作品の選定

「久留米市美術品収集方針」に沿った作品を2023年度の収集候補作品リストとして久留米市に提出しました。また、2022年度に久留米市美術品収集委員会での審議を経て購入及び寄贈を受入れた作品については写真撮影、状態調査に基づいた画面および額の修復・改善を経て収蔵庫にて保管しました。

②展示・保管環境の管理

久留米市所蔵品及び石橋財団や個人からの寄託作品の保全のため、万全の管理に努めています。2023年度は「芥川龍之介と美の世界」展などで日本を代表する作家の原稿や書簡類など貴重で保存が難しい資料類を借用展示したため、美術館の展示環境に問題がないよう搬出入口や空調、温湿度等の管理を徹底しました。

③収蔵作品の公開

所蔵作品についてはデータベースを作成し、久留米市美術館ホームページの「作品検索」機能で所蔵品の情報を公開しています。収蔵作品・寄託作品については棚卸しを行い、所在や状態を把握しています。2023年度より、石橋財団の支援により導入したシステムを用いた所蔵・寄託資料のデータベース化を始めました。

(2) 作家・作品及び展覧会企画のための調査研究

2023年度に開催した展覧会「芥川龍之介と美の世界」展の出品作家・作品について調査研究した成果を展示に反映するとともに図録等で発表しました。また、作品収集や、次年度以降の展覧会企画の実施に向けての調査研究を継続的に行なっています。2023年度は2年に一度の蔵書点検も実施しました。

(3) 久留米市美術館年報6(2022.4-2023.3)の刊行

久留米市美術館の2022年度の活動報告・作品収集状況をまとめた年報を刊行しました。

4. 教育普及事業

(1) 展覧会に関する美術講座等の開催

①展覧会関連美術講座・ギャラリートーク等 ※みゅ〜ず講座は除く

コロナ禍を経て、講座や、ギャラリートークを本格的に再開しました。

各展覧会で担当学芸員による講座やギャラリートークや、ボランティアによるギャラリートークを実施し、3本の展覧会では外部講師を招いた講座を開催しました。

講座名(講師名)	開催日	参加者数
1 「コレクションing4 野見山暁治の見た100年」 関連		
① 学芸員によるミニレクチャー 「留学前編」	5月13日(土)	17人
「留学後編」	5月27日(土)	36人
② キッズギャラリートーク※スケッチ大会事業の一部	4月23日(日)	6人
③ ボランティアによるギャラリートーク 全4回	第1・3・5土曜	計75人
2 「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」 関連		
① 連続講座「アーツ・アンド・クラフツ運動の筑後川流域への広がり」		
〈第1回〉「アーツ・アンド・クラフツと民藝-リーチ、柳と小鹿田・二川」(高木崇雄氏/工藝風向)	6月24日(土)	89人
〈第2回〉「生活を心豊かに-豊田勝秋の仕事とウィリアム・モリス」(佐々木奈美子/当館学芸員)	7月8日(土)	33人
② 講演会「アーツ・アンド・クラフツとデザイン-ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」(藤田治彦氏/大阪大学名誉教授)	7月14日(金)	123人
③ 学芸員との対話「モリス推し集まれ!おしゃべりギャラリートーク」	7月17日(月祝)	8人
3 「顕神の夢 -幻視の表現者- 村山槐多、関根正二から現代まで」 関連		
① 開催記念鼎談「顕神の夢」(鎌田東二氏/京都大学名誉教授、江尻潔氏/足利市立美術館次長、土方明司氏/川崎市岡本太郎美術館館長)	8月26日(土)	80人
② 学芸員によるギャラリートーク	9月10日(日) 10月8日(日)	35人 28人
③ 出展作家によるギャラリートーク(0 JUN氏)	9月24日(日)	40人
④ ボランティアによるギャラリートーク 全4回	第1・3・5土曜	計68人

講座名（講師名）	開催日	参加者数
4 「芥川龍之介と美の世界 二人の先達—夏目漱石、菅虎雄」 関連		
① 美術講座1 「夏目漱石と菅虎雄」 （原武哲氏/福岡女学院大学名誉教授）	11月3日(金祝)	88人
② 美術講座2 「芥川文学の魅力—その美的構造—」 （宮坂覺氏/フェリス女学院大学名誉教授）	11月25日(土)	67人
③ 美術講座3 「芥川龍之介 旧居跡地に刻まれた記憶」 （木口直子氏/田端文士村記念館研究員）	12月2日(土)	51人
④ 担当学芸員によるギャラリートーク	11月18日(土) 12月23日(土)	38人 40人
⑤ 朗読とギターで奏でる物語「聴く・芥川龍之介」 （小島香奈子氏/朗読家、岩松知宏/クラシックギタリスト）	2024年 1月8日(月祝)	102人
合計（主催事業のみ）25回 参加者数		1,024人

② 展覧会関連ワークショップ等

事業名（外部講師名）	開催日	参加者数
1 「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」 関連		
① 活版印刷体験「モリスの図柄にひとこと添えて」 （協力/ブルームーンデザイン事務所）	7月23日(日)	91人
② ワークショップ「自分で編むスツール」 （本山広真氏/ブックマウンテン）	8月6日(日)	8人
2 「顕神の夢—幻視の表現者— 村山槐多、関根正二から現代まで」 関連		
「わたしが、絵を描く」(O JUN 氏/出展作家)	9月24日(日)	11人
合計		110人

(2) その他教育普及事業

事業名	開催日	参加者数
1 「ことばと ことばを つなげて 詩をつくろう」 （夏野雨/詩人、野島智司/ネイチャーライター、 中川たくま/デザイナー） ※「石橋文化センター アートプロジェクト2023」の事業の一部	8月2日(水) 3日(木)	25人
2 夏休みイベント「記念館で工作」①缶バッジづくり ②コースターづくり	7月29日(土)	199人 198人
3 美術館のチラシデツクル 終了した展覧会の印刷物を使用し、封筒をつくる。	2024年 2月25日(日)	84人
4 ボランティアによる石橋正二郎記念館ギャラリートーク	2024年 2月25日(日)	2回計 36人
5 出前授業(西国分小学校)「青木繁や久留米の美術について」	2024年 2月14日(水)	30人
6 久留米大学講義（日本美術史Ⅱ） 「近代洋画における九州人/筑後人」 全15回	9月～ 2024年1月	39人
合計		611人

(4) 美術館ボランティア事業

2023年度ボランティア登録者数 26人（前年度35人）

学校団体受入やワークショップの補助、展覧会でのギャラリートークを行うほか、2024年度から活動を開始する新規ボランティア募集とその研修を実施しました。

美術館ボランティア研修

	内容	開催日
1	「アート・アンド・クラフツとデザイン-ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」展の概要研修	5月20日(土)
2	「顕神の夢 一幻視の表現者― 村山槐多、関根正二から現代まで」展および石橋正二郎記念館23期展示の概要研修	7月22日(土)
3	「芥川龍之介と美の世界 二人の先達―夏目漱石、菅虎雄」展の概要研修	10月14日(土)
4	ボランティア基礎研修①	12月16日(土)
5	ボランティア基礎研修②	1月20日(土)
6	ボランティア基礎研修③	2月18日(日)
7	ボランティア基礎研修④ 「ちくごist 尾花成春」展について	3月17日(日)

(5) 学校団体見学等（大学生以下） ※入館者数には引率者を含む

区分	件数	(前年度)	入館者数	(前年度)
小学校	5件	(10件)	403人	(572人)
中学校	19件	(28件)	2,581人	(3,213人)
高校等	9件	(4件)	218人	(243人)
大学等	12件	(7件)	288人	(125人)
その他	4件	(8件)	150人	(170人)
合計	49件	(57件)	3,640人	(4,323人)

・上記のうち、市内中学校団体受入 15校

5. 美術館管理事業

①作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理

- ・美術館外壁タイル劣化部補修工事（久留米市直工事）
- ・美術館東面漏水補修工事（久留米市直工事）
- ・美術館2階展示室壁改修工事
- ・石橋正二郎記念館空調設備更新（久留米市直工事）
- ・美術館 WI-FI システム構築

②1階展示室貸与事業（前年度）

35件（15件）、延べ貸出日数238日（100日）

入場者数37,225人（20,200人）

6. 広報マーケティング事業

美術館及び美術館活動に関する情報発信

- ・ポスター、チラシ等印刷物や広報くるめ、みどりのリズム等情報誌、ホームページ、フェイスブック、ツイッター等 Web 媒体等による情報発信
- ・マスメディア等による展覧会広報
- ・園内事業と連携した広告掲出
- ・都市圏でのサイネージ広告掲出
- ・百貨店や西鉄福岡（天神）、花畑駅との広報連携

7. 美術館ショップ事業

- ・展覧会の図録、関連書籍、画材、文具等の販売
- ・絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売・製作
- ・楽水亭との展覧会関連商品販売等の連携

8. 協賛制度

「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」や園内の環境整備等に資する目的で企業・団体・学校からの支援を募りました。

区 分	企業・団体数（前年度）
スペシャルパートナー	1 件（1 件）
オフィシャルパートナー	5 件（5 件）
キャンパスパートナー	1 件（1 件）
一般協賛	42 件（44 件）

《収益事業》

収 1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

石橋文化ホール・文化会館並びに共同ホールの施設貸与において、看板、花、ピアノ調律などを受注し、利用者サービスに努めました。

収 2 売店・喫茶事業

カフェ&ギャラリーショップ楽水亭（石橋文化センター内）
園内イベントや展覧会にちなんだカフェメニューの提供等を行い、売上の確保に努めました。

収 3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業

当財団の有するノウハウを発揮し、久留米市から次の事業を受託しました。

- ・アンネのバラ管理・鉢上げ業務
- ・西鉄観光列車連携事業業務（西鉄花畑駅・福岡天神駅花壇設置等）
- ・久留米大学雨水貯留施設完成式業務
- ・大清橋（県道佐賀八女線）開通式典業務
- ・宇宙学会シンポジウム関連行事業務

収 4 久留米市の公共施設の管理運営事業

1. 久留米市野中生涯学習センター

石橋文化センターに隣接する久留米市野中生涯学習センターを指定管理者として、管理運営を行いました。

(1) 施設貸与状況

	利用可能日数 (日)	利用率 (%)	利用者数 (人)	内 訳 (人)	
				登録団体利用者数	一般利用者数
当年度	323	48.3	60,177	登録団体利用者数	40,111
				一般利用者数	20,066
前年度	272	51.8	52,381	登録団体利用者数	40,324
				一般利用者数	12,057

2. 久留米市民交流センター（久留米市庁舎内）

2019年度から5年間の指定管理期間の5年目。2020年度以降、コロナ感染拡大防止の影響により2階くるみホールおよび3階会議室の一般貸出を停止。2023年10月末から、くるみホールのみ一般貸出を再開し、2件の利用があった。

収 5 駐車場管理運営事業

イベント時に警備員を増員することにより入出庫時の混雑解消に取り組み、利用者サービス向上を図るとともに、周辺渋滞の緩和に努めました。

《事務局事業》

1. 石橋正二郎名誉市民顕彰会

世の人々の幸福と郷土の発展を願った石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝え、これからのまちづくりを進めるために顕彰事業を実施しました。

(1) 会員の状況

2023年度会員 個人 88人（122口） 法人 64社（64口）

(2) 事業実施状況

①墓前祭

2023年9月11日（月）千栄禅寺 70人

②講演と展覧会見学会

2023年12月8日（金）23人

③ゆかりの地見学会「有馬記念館」

2024年3月3日（日）23人

2. 青木繁記念大賞ビエンナーレ

ファイナルとなる第7回展を4年ぶりに開催しました。全国から作品を募集した結果、318人の作家から、443点の作品が出品され、厳正な審査によって選出された入賞作品12点と入選作品79点を展示しました。

会期：7月1日（土）～7月30日（日）

会場：久留米市美術館本館1階

入場者：3,976人（前回は3,572人）

Ⅲ 処務の概況

1. 役員に関する事項

2024年3月31日現在

役員	氏名	就任年月日	担当職務	現職
評議員	喜多村 浩司	2023. 6. 27		喜多村石油株式会社代表取締役社長
	内野 博夫	2021. 6. 29		久留米連合文化会会長
	絹笠 順一	2011. 4. 1		久留米文化推進協議会会長
	田中 功一	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	田住 和也	2023. 6. 27		久留米市議会議員
	早田 耕一郎	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	井上 謙介	2020. 6. 24		久留米市教育長
	豊福 由紀子	2021. 6. 29		久留米市子ども未来部長
理事	檜原 利則	2013. 6. 20	理事長	久留米市美術館館長
	永田 見生	2017. 3. 1	副理事長	久留米大学理事長
	本村 康人	2013. 6. 20		久留米商工会議所会頭
	西嶋 大二	2015. 6. 23		公益財団法人石橋財団常務理事
	龍頭 宏典	2013. 6. 20		旭ゴルフ株式会社相談役
	甲斐田 義弘	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	石田 眞一郎	2023. 6. 27		久留米市議会議員
	橋本 政孝	2022. 8. 15		久留米市副市長
	田代 理香	2023. 6. 27		久留米シティプラザ担当部長
	大橋 勝己	2023. 4. 1	常務理事	
監事	白石 浩之	2023. 4. 1		久留米市会計管理者

2. 会議に関する事項

区分	年月日	議事事項	会議の結果
臨時評議員会 (みなし決議)	2023年 4月1日	第1号議案 理事1名の選任について	原案承認可決
		第2号議案 監事1名の選任について	原案承認可決
臨時理事会 (みなし決議)	2023年 4月1日	第1号議案 常務理事選定の件	原案承認可決
		第2号議案 事務局長の選任について	原案承認可決
第1回 定例理事会	2023年 6月6日	第1号議案 2022年度事業報告並びに決算について	原案承認可決
		第2号議案 定時評議員会の招集について	原案承認可決
定時 評議員会	2023年 6月27日	第1号議案 定款の変更について	原案承認可決
		第2号議案 2022年度事業報告並びに決算について	原案承認可決
		第3号議案 任期満了に伴う評議員の選任について	原案承認可決
		第4号議案 任期満了に伴う理事の選任について	原案承認可決
		第5号議案 任期満了に伴う監事の選任について	原案承認可決
臨時理事会 (みなし決議)	2023年 6月27日	第1号議案 代表理事(理事長)選定の件	原案承認可決
		第2号議案 副理事長選定の件	原案承認可決
		第3号議案 常務理事選定の件	原案承認可決
第2回 定例理事会	2024年 3月21日	第1号議案 2023年度補正予算専決処分について	原案承認可決
		第2号議案 2024年度事業計画並びに予算書等について	原案承認可決
		第2号議案 評議員会の招集について	原案承認可決

3. 許可・認可・承認に関する事項

なし

4. 届出・申請等に関する事項

年月日	項目	摘要
2023年4月14日	法務局へ登記	理事1名、監事1名の辞任及び就任
2023年5月11日	福岡県(電子申請)	役員変更の届出
2023年6月30日	福岡県(電子申請)	2022年度事業報告等の提出
2023年7月14日	法務局へ登記	評議員、代表理事、理事、監事の改選
2023年8月17日	福岡県(電子申請)	定款の変更 役員変更の届出
2024年1月16日	法務局へ登記	評議員1名の辞任
2024年3月14日	法務局へ登記	監事1名の辞任
2024年3月30日	法務局へ登記	2024年度事業計画書等の提出

5. 組織に関する事項

※2024年3月31日現在・常勤役員は含まず

()内は前年度

	一般職員	嘱託職員	市職員 (派遣)	他団体へ 派遣	合計
総務課	3 (3)	-	-	0 (1)	3 (4)
会場サービス課	3 (5)	1 (1)	-	-	4 (6)
企画広報課	2 (4)	-	1 (0)	-	3 (4)
園内魅力推進課	4 (5)	1 (1)	-	-	5 (6)
美術館総務	3 (1)	1 (1)	-	-	4 (2)
学芸課	3 (3)	1 (1)	1 (1)	-	5 (5)
合計	18 (21)	4 (4)	2 (1)	0 (1)	24 (27)

IV 附属明細書

2023年度の事業報告の附属明細書について、事業報告の内容を補足すべき重要な事項は存在しない。